

小児



コーナー

北医療生協
あじま診療所 看護師
熊谷 裕子

冬の準備もお早めに インフルエンザにご用心

まだまだ暑い日が続きますが、毎年冬に流行するインフルエンザとワクチンについてのお話をします。

インフルエンザはインフルエンザウイルスが原因の感染症で、主に冬(季節性では例年11～12月頃に流行が始まり、1～3月にピークを迎える)に流行します。普通のかぜとは違い突然の38℃以上の「発熱」や、関節痛、頭痛などの他、全身倦怠感、食欲不振などの「全身症状」が強く現れます。また、肺炎や脳炎などを合併して重症化することがあります。

予防には手洗い・うがい・マスクが基本ですが、ワクチンの接種も有効です。ワクチンはその年にどのウイルスの型(タイプ)が流行するかを予測して製造され、効果は5ヶ月持続す

ると言われているので、毎年流行シーズン前に接種することをおすすめしています。

ワクチンは生後6ヶ月から受けられます。6ヶ月から12歳は2回接種、13歳からは1回接種となっています。生後0～6ヶ月までは接種の対象から外れ接種できません。その為、家族への接種をおすすめします。

接種の開始時期については、北病院・各診療所での掲示やホームページでお知らせしますのでよろしくをお願いします。

